

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年7月6日

和歌山県知事 仁坂吉伸様



提出者

住所 和歌山県西牟婁郡白浜町1600番地

氏名 白浜町長 井澗 誠

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0739-43-5555

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	白浜浄化センター
事業場の所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町1392番地の1
計画期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	98 地方公務
② 事業の規模	下水道使用料収入 125,541千円
③ 従業員数	4人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	脱水→焼却→陸上埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	5,323 t
	(これまでに実施した取組)	
平成15年度から新たな薬品の注入により汚泥量は減少した。区域内の使用水量によって大きく左右されるが、前年度の処理水量等をもとにして産業廃棄物の発生量を予測する。		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥
	排出量	5,500 t
	(今後実施する予定の取組)	
これまでの取り組みを継続する。		
産業廃棄物の分別に関する事項		
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (該当なし)	
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) (該当なし)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら直接再生利用、自ら中間処理した後再生利用は行わない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら直接再生利用、自ら中間処理した後再生利用は行わない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,946 t	t
	(これまでに実施した取組) ベルトプレス脱水機による脱水		
③ 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	5,100 t	t
	(今後実施する予定の取組) これまでの工程を継続する。		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成27年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	377 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 町清掃センターで一般廃棄物と混焼		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	400 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	t
	再生利用業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
これまでの工程を継続する。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

委託責任者	所属：上下水道課	職・氏名：課長 濱口 伊佐夫
委託現場責任者	所属：下水道室	職・氏名：室長 富田 康高
受託責任者	所属：共同企業体	職・氏名：代表者 吉村 英夫
受託現場責任者	所属：共同企業体	職・氏名：松村 亘

- [役割] 委託責任者
- 委託契約の締結
  - 廃棄物処理方針に関する各種事項の承認
- 委託現場責任者
- 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
  - 廃棄物中間処理施設の運転・維持管理状況の把握
  - 監督官庁への各種報告
- 受託責任者
- 契約書、一般・特記各仕様書に基づく業務履行責任
- 受託現場責任者
- 現場責任者としての従業員の指導、監督
  - 効率的、経済的な運転管理業務
  - 業務執行状況の委託者への報告、協議
  - 従業員の教育、技術向上、事故防止の啓発

